一般行政視察

令和６年度　箕面市行政視察報告書

１　日程

令和７年　１月　９日（木）～　１月１０日（金）

２　視察先

（１）愛知県安城市（北部学校給食共同調理場）

視察項目	安城市の学校給食について
視察目的	安城市学校給食協会では、成長期における園児、児童、生徒の知育、徳育、体育の基礎となる食育事業を推進されている。令和５年９月から給食無償化を実現された経緯なども含め、本市の施策の参考とする。

（２）愛知県蒲郡市

視察項目	ボートレース蒲郡の集客に繋がる施設について
視察目的	ボートレース蒲郡は、ナイターレースのみの開催だが、ファミリーや若い年齢層が来場してボートレース以外で楽しめるよう工夫されている。 住之江ボートレース場の集客の参考とする。

（３）愛知県岡崎市

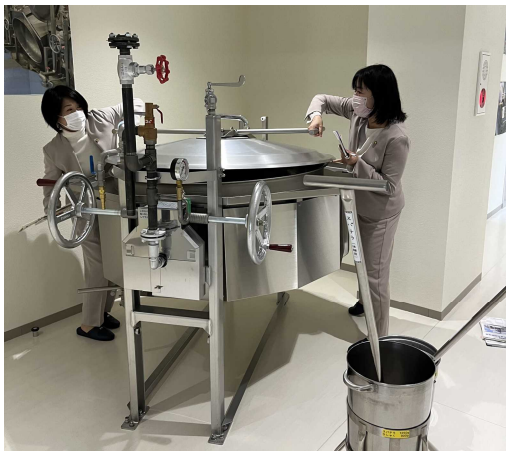
視察項目	①岡崎市の観光施策について学び、本市の観光戦略の一助とする ②移転後の市立病院の建物を利用した「岡崎げんき館」の視察
視察目的	①大河ドラマによる観光特需を一過性のものとならないよう、「アフター大河」の取組、リピーターの獲得、若者交流人口の流入促進を学ぶ。 ②市立病院跡地活用として福祉施設を運営、その経緯を現状を伺い、本市の公共施設活用等の参考とする。

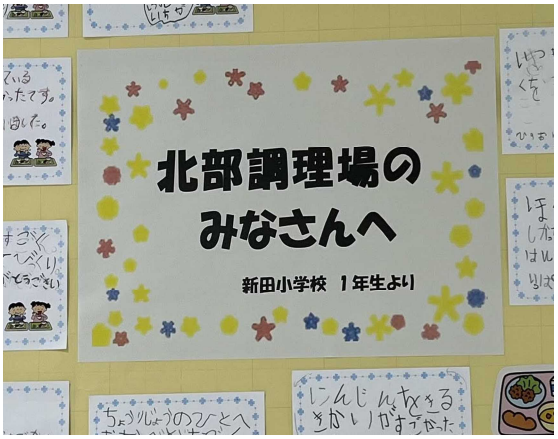
３　参加者

議員	山根ひとみ、久野井優子、吉田栄美子、尾﨑夏樹、神代繁近

視察先名称　愛知県安城市【北部学校給食共同調理場】

項目	内容	備考
「学校給食」について	・給食センターのメリットは、人員配置、食材調達の観点からスケールメリットがある。 ・地産地消率（安城市産）は１５．４％ ・給食を活用した食育に関する事業を実施することにより、成長期における児童、生徒、園児の健全な心身の発達や豊かな食生活の実現に寄与されている。 ・食育への取り組みとして、施設見学・給食試食会を開催。園児、児童、生徒が学校給食に関する作文やメッセージを掲示されていて、調理員の方々や自然の恵みに感謝している様子がうかがえた。	





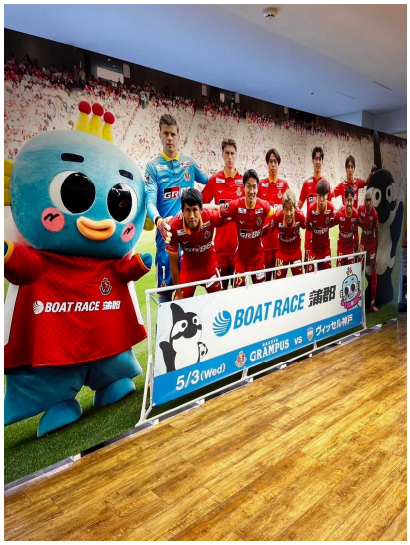
所感

安城市の学校給食協会の職員の方々が、出前講座で衛生面の大切さや調理の様子を紹介するなど、自信を持って子どもたちへの食育の取り組みをされているのが伺えた。イメージキャラクターを活用して PR するなど、本市の参考になる部分も大いにある。

安城市は令和 5 年 9 月から給食費無償化を実現している。

視察先名称　愛知県蒲郡市【ボートレース蒲郡】

項目	内容	備考
「ボートレース蒲郡」について	・BR 蒲郡はナイターのみの開催。 ・ボートレース場を「地域に開かれた場所」とするべく、様々な活動を活性化されている。子育てファミリーも集える施設「Mooovi モーヴィ」がある。 ネット投票が８０％を超える昨今の本場への集客の一助となっている。	



所感

本場へ足を運んでいただく取り組みとして、子育てファミリーをターゲットにしている点は住之江 BR 場にも参考になる施策である。

視察先名称　愛知県岡崎市①【岡崎市役所】

項目	内容	備考
「アフター家康・観光施策」について	・昨年大河ドラマの舞台となった岡崎市。 ・第 2 次岡崎市観光基本計画として『おかざき観幸（かんこう）プラン』としている。 ・観光客の感動を市民の幸せにつなげる「観幸都市」の創造。大河ドラマによる観光特需を一過性のものにしないような様々な取り組み。 ・2030 年までの具体的な目標値を設定している。 ・官民連携でスイーツマップなど、若い世代を取り込む仕掛けつくり。	

所感

ドラマをきっかけにした観光資源の活用を持続可能な形にする取り組みは、地域の発展にとって重要だと感じた。スイーツマップなど、若い世代を巻き込むことで、地元の魅力を次世代に継承し、地域全体の活性化につながる可能性の広がりは、本市においても大いに参考になるところである。

視察先名称　愛知県岡崎市②【岡崎げんき館】

項目	内容	備考
「岡崎げんき館」について	・旧市立病院跡地を利用した施設で、使える部分は残し、一部改修している。 ・岡崎市では初めての PFI 事業による施設運営と市民サービスの提供を行っている。 ・健康づくりゾーン、保健衛生ゾーン、市民交流ゾーン、子ども育成ゾーンがある。	

所感

この施設は、地域住民の福祉を支える重要な拠点として運営されていて、温かみのある雰囲気が印象的だった。特に、子どもや高齢者の方々が安心して利用できる工夫が随所に見られた。交流スペースも確保されていて、地域コミュニティーの活性化にも寄与していると感じた。